

太陽光と蓄電池導入で

補助金最大

130万円



その他にも再エネ・省エネ設備導入に補助します！詳しくは裏面で



発電した電気は「売る」から「使う」でよりお得に



作って使うが一番おとく

FIT売電単価は年々下落しています。売るよりも、昼間に作った電気を蓄電池に貯めておけば、より効率よく使うことができ経済的。電気代の削減に大きく寄与します。



補助金を活用しましょう

太陽光と蓄電池を導入するにも初めにまとまったお金がかかります。補助金を活用して出費を抑えましょう。



防災対策にも

いつ起こるか分からない地震などの天災。停電時には作った電気を自給自足で安心に。蓄電池を活用すれば、昼間に作られた電気を夜間にも使うことができます。

申請期間

2025年

5.12月 から

12.15月 まで

先着順

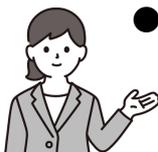
予算がなくなり
次第受付終了

補助金交付までの流れ

交付決定を受ける前に契約または着工したものは補助対象外となります。



●申請者要件や補助対象設備要件、申請方法など詳しくは市HPで



●申請書類の提出(送付)先及び問い合わせ先

☎0721-53-1111

〒586-8501 河内長野市原町1-1-1
河内長野市環境政策課

当事業は、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用しています。



申請期間 2025年5月12日(月)～2025年12月15日(月) ※予算がなくなり次第受付終了します

再エネ・省エネ設備等の導入を補助します



5.1kW以下の自家消費型太陽光発電設備

補助額：11万円/kW

上限額：55万円(「設備費+工事費」(税抜)の範囲)

- 主な要件**
- 自家消費率30%以上。
 - FIT/FIP制度の認定を取得しないこと。
 - 太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値(小数点以下を切り捨てない値)が5.1kW以下であること。
 - 太陽光発電設備が設置されていないこと。
 - 太陽光発電設備以外のコージェネレーションシステム等の発電設備が設置されていないこと。また補助事業終了後に設置しないこと。

蓄電池

補助額：「設備費+工事費」(税抜)×1/3

または容量(kWh)×5.1万円のいずれか低い方

上限額：75万円

- 主な要件**
- 太陽光発電設備の補助と併用すること。
 - 家庭用(4,800Ah・セル未満)の場合は「一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)により機器登録されたものであること。

コージェネレーションシステム

補助額：「設備費+工事費」(税抜)×1/2

上限額：50万円

- 主な要件**
- 住宅に太陽光発電設備が設置されている、又は導入に併せて太陽光発電設備を設置すること。
 - 一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA)に機器登録されたものであること。

高効率給湯器

補助額：「設備費+工事費」(税抜)×1/2

上限額：20万円

- 主な要件**
- 住宅に太陽光発電設備が設置されている、又は導入に併せて太陽光発電設備を設置すること。
 - 新設の場合、取替の場合にそれぞれ機器要件あり。

電気自動車(車載型蓄電池)

補助額：蓄電池容量×1/2×4万円/kWh

上限額：経済産業省「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(CEV補助金)の交付額
または85万円のいずれか低い方

- 主な要件**
- 太陽光発電設備の補助と併用し、その太陽光発電設備と接続して充電を行うものであること。
 - プラグインハイブリット自動車は対象外。

充放電設備

補助額：「設備費+工事費」(税抜)×1/2

上限額：150万円

- 主な要件**
- 太陽光発電設備及び電気自動車(車載型蓄電池)の補助と併用すること。
 - 原則として太陽光発電設備から電力供給可能となるよう措置されていること。

●上記設備においてその他の国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体からの補助金等との併用はできません。●

●申請書類の提出(送付)先及び問い合わせ先

0721-53-1111

〒586-8501 河内長野市原町1-1-1
河内長野市環境政策課

●各要件、申請方法など詳しくは市ホームページで



当事業は、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)を活用しています。

